

## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 6 日

上場会社名 **株式会社エディオン** 上場取引所 東証一部 名証一部  
 コード番号 2730 URL <http://www.edion.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 允誉  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長兼内部統制推進室長 (氏名) 麻田 祐司 TEL (06) 6440-8714

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	648,410	15.3	4,832	25.6	14,232	12.1	3,851	△34.9
19年3月期第3四半期	562,252	2.8	3,848	△33.9	12,699	△15.2	5,920	2.3
19年3月期	740,293	—	6,946	—	18,631	—	7,367	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	36	47	—	—
19年3月期第3四半期	56	05	—	—
19年3月期	69	76	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	457,855	175,177	29.4	1,273	93			
19年3月期第3四半期	373,409	132,987	35.3	1,248	78			
19年3月期	390,550	162,176	34.0	1,258	61			

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
20年3月期第3四半期	21,062	△30,462	14,837	33,029				
19年3月期第3四半期	2,840	△24,174	30,827	23,265				
19年3月期	3,408	△12,102	22,512	27,590				

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	860,000	16.2	7,000	0.7	21,000	12.7	6,600	△10.4	62	50

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動) : 有
  - (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
  - (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- 〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 20 年 3 月期の連結業績予想につきましては概ね予想通りに推移しており、現時点において平成 19 年 12 月 21 日発表の業績予想に修正はありません。

ただし、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、企業業績は引き続き好調に推移し回復基調にあるものの、原油価格の高騰による物価の上昇、定率減税の廃止による税負担の増加、サブプライムローン問題を背景とした金融不安などがあり、個人消費については力強さを欠いた状態が続きました。

当家電小売業界におきましては、地上デジタル放送の全国への拡大により、薄型テレビやDVDレコーダなどが引き続き堅調に推移したほか、電子レンジや炊飯ジャーなどの生活家電やパソコンも当社オリジナル商品をはじめとして好調に推移しました。また、携帯電話も引き続き好調に推移しました。一方で、原油価格の高騰の影響により石油暖房機器は苦戦しましたが、エアコンや電気暖房機器は好調に推移しました。

こうしたなかで当企業グループは、10月に「㈱東京エディオン」を100%子会社として設立し、11月に㈱東京エディオンの1号店として「エディオン高井戸店」を東京都杉並区にオープンいたしました。また㈱エディオンが保有する石丸電気㈱の全株式を㈱東京エディオンに譲渡し、石丸電気㈱が㈱東京エディオンの子会社となることで、㈱東京エディオンのもと関東エリアにおいて一貫した政策遂行が行える体制を整えました。今後、関東エリアにおける出店はすべて㈱東京エディオンで行い、また同エリアのグループ各店舗につきましても経営効率の観点から順次㈱東京エディオンへ事業譲渡を行い、ストアブランドを「エディオン」に統一して運営の強化を図ってまいります。当企業グループは、今後もグループとしての収益力を高め、「サービス型小売業」としての経営理念を徹底的に追求し、大型家電量販店のトップブランドとなることを目指してまいります。

第 3 四半期の店舗展開におきましては、デオデオ米子店など 2 店舗を建替、エイデン尾鷲店、100 満ボルト大勝店など 4 店舗を移転し、ミドリ神戸学園店など 6 店舗を閉鎖いたしました。またエイデン本店をコンプマート名古屋と統合し、「エイデン本店」としての大規模リニューアルオープンを行い、また東京秋葉原地区においても石丸電気㈱の各店舗を再編してリニューアルオープンを行っております。

以上の結果、当第 3 四半期の連結売上高は 6,484 億 10 百万円、営業利益は 48 億 32 百万円、経常利益は 142 億 32 百万円となりましたが、ミドリ電化グループにおいて過年度の未払賃金等として約 29 億円を特別損失に計上した結果、四半期純利益は 38 億 51 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産に関する分析

総資産は、前連結会計年度末と比較し 673 億 5 百万円増加し、4,578 億 55 百万円となりました。これは、新規出店による固定資産の増加と当連結会計年度より㈱サンキュー及びその連結子会社を新たに連結したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較し 543 億 3 百万円増加し、2,826 億 78 万円となりました。これは、新規連結と年末商戦における買掛金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し 130 億 1 百万円増加し、1,751 億 77 百万円となりました。これは、新規連結及び新規連結による少数株主持分の増加があったこと等によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 54 億 38 百万円増加し、330 億 29 百万円となりました。当四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は 210 億 62 百万円となりました。これは仕入債務の増加による資金の増加が 302 億 59 百万円あったことと、法人税等の支払額が 136 億 48 百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は 304 億 62 百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出が 179 億 92 百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は 148 億 37 百万円となりました。これは短期借入金の純増加額が 117 億 2 百万円あったこと等によるものであります。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成 19 年 6 月 15 日に㈱サンキューの発行済株式数の 40%を取得しており、㈱サンキュー及びその子会社 145 社を連結の範囲に含めております。また、平成 19 年 4 月 1 日に㈱デオデオ商事が㈱デオデオに吸収合併されたため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・法人税等の計上基準：法定実効税率をベースとした年間予測税率により算出しております。
- ・たな卸資産の棚卸高：実地棚卸は行わず、帳簿残高により算出しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当連結会計年度より法人税法の改正（所得税法等の一部を改正する法律 平成 19 年 3 月 30 日 法律第 6 号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令 平成 19 年 3 月 30 日 政令第 83 号）に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産の減価償却費について、改正後の法人税法に規定する償却方法に変更しております。なお、これに伴い、前第 3 四半期連結会計期間と同一の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益が 135 百万円減少しております。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
		平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期	増 減		(平成 19 年 3 月期末)
		第 3 四半期末	第 3 四半期末	金 額	増減率	金 額
		金 額	金 額	金 額	%	金 額
<b>(資産の部)</b>						
<b>I 流動資産</b>						
現金及び預金		23,315	39,044	15,729		28,992
受取手形及び売掛金		33,141	37,133	3,991		29,280
たな卸資産		101,665	120,887	19,221		99,646
その他		15,113	19,569	4,456		16,299
貸倒引当金		△132	△202	△70		△141
流動資産合計		173,103	216,432	43,329	25.0	174,077
<b>II 固定資産</b>						
<b>有形固定資産</b>						
建物及び構築物		73,766	77,103	3,337		71,508
器具及び備品		5,320	6,541	1,220		5,497
土地		58,269	68,611	10,341		64,902
その他		2,538	4,293	1,754		2,823
有形固定資産合計		139,895	156,549	16,654	11.9	144,730
<b>無形固定資産</b>						
投資その他の資産		9,320	14,237	4,917	52.8	10,139
差入保証金		31,454	36,655	5,201		35,577
その他		20,112	34,487	14,374		26,527
貸倒引当金		△493	△534	△41		△508
投資その他の資産合計		51,073	70,608	19,534	38.2	61,595
固定資産合計		200,288	241,395	41,106	20.5	216,465
<b>III 繰延資産</b>						
繰延資産		17	27	10	59.7	7
資産合計		373,409	457,855	84,446	22.6	390,550

(注) 表示の金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
		平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期			(平成 19 年 3 月期末)
		第 3 四半期末	第 3 四半期末	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					%	
I 流動負債						
支払手形及び買掛金		80,627	90,198	9,570		55,825
短期借入金		45,000	41,787	△3,212		29,854
一年内返済予定の長期借入金		13,055	11,501	△1,554		14,254
一年内償還予定の社債		740	240	△500		740
賞与引当金		2,119	2,864	745		5,120
ポイント引当金		6,069	10,522	4,452		7,042
その他		21,127	28,354	7,227		26,679
流動負債合計		168,739	185,469	16,730	9.9	139,515
II 固定負債						
社債		420	711	291		331
長期借入金		51,276	67,634	16,358		60,956
再評価に係る繰延税金負債		2,659	2,669	9		2,669
退職給付引当金		7,672	9,548	1,876		9,243
役員退職慰労引当金		628	1,047	419		978
負ののれん		—	3,350	3,350		3,919
その他		9,024	12,246	3,221		10,758
固定負債合計		71,682	97,208	25,525	35.6	88,858
負債合計		240,421	282,678	42,256	17.6	228,374
(純資産の部)						
I 株主資本						
資本金		10,174	10,174	—	—	10,174
資本剰余金		83,420	82,364	△1,056	△1.3	83,420
利益剰余金		53,395	56,988	3,592	6.7	54,289
自己株式		△56	△64	△8	15.4	△58
株主資本合計		146,933	149,462	2,528	1.7	147,825
II 評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金		737	359	△378	△51.3	383
土地再評価差額金		△15,783	△15,284	498	△3.2	△15,284
評価・換算差額等合計		△15,045	△14,925	120	△0.8	△14,900
III 少数株主持分		1,099	40,640	39,541	3,595.2	29,251
純資産合計		132,987	175,177	42,189	31.7	162,176
負債、純資産合計		373,409	457,855	84,446	22.6	390,550

(注) 表示の金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考) 前期
		平成 19 年 3 月期 第 3 四半期	平成 20 年 3 月期 第 3 四半期	金 額	増減率	(平成 19 年 3 月期) 金 額
I 売上高		562,252	648,410	86,158	15.3	740,293
II 売上原価		438,021	500,724	62,702	14.3	575,802
売上総利益		124,231	147,686	23,455	18.9	164,490
III 販売費及び一般管理費		120,382	142,853	22,471	18.7	157,544
営業利益		3,848	4,832	984	25.6	6,946
IV 営業外収益		9,946	10,717	771	7.8	13,069
受取利息及び配当金		310	457	147		415
仕入割引		8,316	8,595	278		10,940
負ののれんの償却額		—	590	590		—
投資有価証券売却益		37	—	△37		53
その他		1,281	1,073	△208		1,659
V 営業外費用		1,095	1,318	222	20.3	1,384
支払利息		655	1,065	409		910
持分法による投資損失		199	53	△145		176
貸倒引当金繰入額		0	—	△0		0
その他		241	199	△42		297
経常利益		12,699	14,232	1,533	12.1	18,631
VI 特別利益		313	244	△69	△22.2	799
VII 特別損失		1,752	5,334	3,581	204.4	5,163
固定資産売却損		95	25	△69		97
固定資産除却損		1,007	961	△46		1,244
投資有価証券評価損		19	—	△19		19
減損損失		460	919	459		2,853
その他		168	3,427	3,258		949
税金等調整前四半期(当期) 純利益		11,260	9,142	△2,118	△18.8	14,268
法人税等		5,265	5,636	371	7.0	6,800
少数株主利益又は少数 株主損失(△)		75	△346	△421	—	100
四半期(当期)純利益		5,920	3,851	△2,068	△34.9	7,367

(注) 表示の金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前年同四半期 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期	当四半期 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期 (当期) 純利益		11,260	9,142	14,268
減価償却費		7,575	8,033	9,290
減損損失		460	919	2,853
受取利息及び配当金		△310	△457	△415
支払利息		655	1,065	910
固定資産除却損		1,007	961	1,244
売上債権の増減額		△12,262	△5,963	△7,653
たな卸資産の増減額		△22,006	△10,646	△12,078
仕入債務の増減額		28,915	30,259	1,873
その他		△4,604	2,070	1,207
小 計		10,692	35,384	11,499
利息及び配当の受取額		96	313	160
利息の支払額		△626	△986	△855
法人税等の支払額		△7,322	△13,648	△7,396
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,840	21,062	3,408
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の預入れによる支出		△220	△6,165	△550
定期預金の払戻しによる収入		220	1,552	520
有形固定資産の取得による支出		△17,560	△17,992	△21,799
有形固定資産の売却による収入		1,394	4,851	7,756
無形固定資産の取得による支出		△2,482	△3,652	△2,463
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		—	△7,389	△560
保証金差入による支出		△1,737	△1,780	△1,897
保証金回収による収入		776	1,539	1,008
その他		△4,565	△1,425	4,764
投資活動によるキャッシュ・フロー		△24,174	△30,462	△12,102
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		30,500	11,702	13,000
長期借入による収入		14,165	15,500	26,000
長期借入金の返済による支出		△11,510	△11,575	△13,969
配当金の支払額		△2,043	△2,032	△2,111
その他		△283	1,242	△406
財務活動によるキャッシュ・フロー		30,827	14,837	22,512
IV 現金及び現金同等物の増減額		9,493	5,438	13,818
V 現金及び現金同等物の期首残高		13,771	27,590	13,771
VI 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高		23,265	33,029	27,590

(注) 表示の金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。